

先輩農業者インタビュー



新規参入

園芸

福井県南越前町

川崎 武彦 さん

(福井県出身)

就農のきっかけ

~~地元のためになる仕事がしたい~~

前職では、県の農業普及指導員として県内各地を転勤しながら農業に携わってきました。その中で次第に、「農業を通じて、生まれ育った地域をもっと元気にしたい」という思いが強くなりました。地元の役場や JA、県の関係者に相談を重ねる中で、人が集い、交流が生まれる場所を農業でつくりたいと考えるようになり、思い切って県職員を退職。

令和 6 年 1 月 5 日、体験型農園「FRUITFUL GARDEN ひのの実」をオープンしました。

体験型農園の取り組み

~~1 年を通して楽しめる果樹園~~

農園は地域の仲間 2 人と力を合わせ、イチゴ園、ブルーベリー園、ブドウ園をそれぞれを分担して栽培しています。販売や管理は「南条果樹園管理組合」を設立し、協力しながら運営しています。1年を通してお客様に足を運んでいただけるよう、収穫時期をずらし、多くの品種を栽培しています。

12 月～6 月：イチゴ (11 品種)

6 月～9 月：ブルーベリー (30 品種以上)

8 月～10 月：ブドウ (40 品種以上)

また、新たなチャレンジとして枝豆栽培にも取り組んでいます。



6 次産業化への挑戦

～「楽しい時間」を提供する農園へ～

果実の摘み取り体験を通じて、農業をより身近に楽しんでいただくことを大切にしています。

イチゴ園では食べ放題ではなく、1 カップ分の摘み取り体験を採用。ご家族でシェアすることも可能です。園内にはカフェコーナーを設け、摘み取った果実をホイップクリームやアイスのトッピング、クレープや大福でスイーツづくり、ドリンクなどで楽しめます。

農園入口の直売所では、収穫したイチゴやブドウ、果実を使ったジャムなどの加工品を販売。隣接するキッチンカーでは、果実を使ったケーキやパフェ、スムージー、シェイクなどもご購入いただけます。さらに、食育体験イベント、愛犬と一緒に楽しめる「わんわん DAY」などの企画も行っています。農業でありながら、サービス業に近い感覚で農園づくりをしています。果実は、隣接する道の駅でも販売しています。



農園づくりと支え

～多くの方の協力に感謝～

農園整備にあたっては、本当に多くの方々から支援やアドバイスをいただきました。敷地は高速道路のサービスエリアの道の駅に隣接した、集客に恵まれた場所です。

また、鉄骨ハウス 1 棟、パイプハウス 3 棟、加工品製造所、キッチンカーを整備し、イチゴは養液栽培で生産しています。自動灌水装置や生育診断システムを導入し、スマート農業にも取り組んでいます。

資金は、日本政策金融公庫の融資や農林水産省の補助事業を活用。技術面では県外産地を視察し、肥料メーカーなどからも情報を得ながら研鑽を重ねています。

～地域とともに歩む農園～

「ここに来て楽しい時間を過ごせた」そう思っただけの農園を目指しています。安定した品質と収量の確保、高温化への対応など、課題はありますが、技術を磨きながら一步步前進していきます。イベント企画やサービスの充実にも力を入れ、地域全体が元気になる場所にしていきたいと考えています。経営面や人材面についても、研修を受けながら体制づくりを進めていく予定です。

新規就農を考えている方へ

～悩むより、進め～

就農・独立には計画と覚悟が必要です。生産・販売・資金・事業展開をしっかり考え、自分の信念を大切に行動してください。

悩むこともあります、悩んでいるだけでは前には進めません。「悩むより進め。」

そして、家族やパートナーの理解は大きな支えになります。

自分が目指す農業を信じて、一歩踏み出してほしいと思います。



令和7年8月 経営支援課取材